

平成30年度  
第2回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：平成30年8月9日（木）

場所：朝日庁舎 大会議室

平成30年度 第2回 朝日地域振興懇談会会議録 (概要)

- 日 時 : 平成30年8月9日 (木) 13時30分から15時30分まで
- 会 場 : 朝日庁舎 大会議室
- 出席委員 : 成沢日登司、佐藤泉三、小野寺太、佐藤宥男、渡部智也、難波智明、宮崎正視、  
帯刀とく子、工藤悦夫、渡部順子
- 欠席委員 : 佐藤清、渡部巖、渡部昌樹、山口弘美、渡部小枝
- 市側出席職員
  - 【庁舎】 朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長、  
事務局 (総務企画課職員)
  - 【本所】 企画部地域振興課職員

一次 第一

1. 開 会
2. あいさつ
3. 協 議
  - (1) 朝日地域振興計画について 資料1
  - (2) 地域まちづくり未来事業について 資料2
  - (3) その他
4. その他
5. 閉 会

1. 開 会 13時30分 (進行 総務企画課長)

2. あいさつ

会長

皆さん暑い中大変ご苦労様です。今年の夏の暑さに皆さん苦労されているかと思います。最近の雨で少し過ごしやすくは感じられますが、朝日地域は豪雨被害もさほどないようで良かったと思います。今日は第2回の会議となりますが、事務局から分かりやすい事業のたたき台を資料として事前に配布してもらっていますので、みなさん既に目を通してもらっているかと思います。不明な点などを存分に意見をいただけたらと思いますので、よろしくお願ひします。

朝日庁舎支所長

本日はお盆前のご多用のところ、第2回朝日地域振興懇談会にご出席を賜り誠にありがとうございます。先ほど会長からもありましたが、今年の夏は7月14日の梅雨明け以降大変暑い日が続きまして、熱中症の心配の他に水不足の影響で、大網や大平など標高の高いところでは農作物の一部に被害が出たと伺っております。しかし今週の5日から6日にかけては、庄内・最上地方で大変な大雨となりました。この影響で水不足は解消したと思いますが、鶴岡では幸い人的被害はありませんでしたが河川の氾濫が想定されたことから、藤島地域と羽黒地域で避難勧告が発令される事態となったところです。朝日地域にはかなりの市道・農林道がありますが、山奥のほうにある道路ではかなり大きな被害が発生しています。現在強い台風13号も近づいておりますので、皆様には充分気をつけていただきたく存じます。

さて、本日の懇談会ですが朝日地域振興計画の骨子案と、朝日地域まちづくり未来事業のたたき台、この二つについて委員の皆さんにご意見を賜りたいと思います。頂いたご意見は総合計画の幹事会や、9月に開催される地域まちづくり未来事業検討会議の素案として検討を重ねていきたいと考えております。なお市全体の総合計画の策定にあたっては、現在5つの専門委員会で基本構想、基本計画を中心に作業が進められております。今月末にはそれぞれ3回目～4回目となる委員会を開催いたしますし、若者で構成される「鶴岡まちづくり塾」でも意見交換が行われており、朝日庁舎でも6月から7月にかけて7地区で住民懇談会を開催しながら様々な意見を伺ってきたところです。

次回となる3回目の懇談会については、来年度予算要求前の10月を予定しています。委員の皆様のご意見を今後の施策に反映させ、課題の解決にむけて一歩ずつ前進していきたいと思ひます。皆様にはこれからもお手数をおかけしますが、よろしくお願ひを申し上げます。本日はよろしくお願ひいたします。

3. 協 議

会長 それでは協議(1)について事務局の説明をお願いします。

(説明：事務局)

会長 ただ今事務局から説明がありました。朝日地域振興計画の骨子について、皆様から質問、意見をいただきたいと思ひます。

委員 私も朝日に住んでいて、特に今年の冬の屋根の雪下ろしが非常に難儀しました。一人ではできなくて人を頼んで降ろしましたが、この手間がなくなればとても住みやすい地域になるだろうと思ひます。この点をもっと行政からも応援いただきたいと思ひます。

副会長 雪のことですが、骨子案8ページの4.に玄関前除雪に対する支援を行うと書いてありましたが、どのような方法で実施する予定でしょうか。具体的に何かわかれば教えてもらいたいです。

事務局 地域振興計画の中では具体の事業の説明には触れず、このような目標ということで記載したものです。具体的な取り組みについては後段のまちづくり未来事業計画の時に内容を説明することになりますが、基本的には除雪機械を所有している人への支援等を想定しています。

会長 今の質問に関連しますが、除雪パートナーズ事業について連絡協議会で除雪機を購入し、現在朝日には6台あると思います。それで玄関前除雪も大鳥地区ではその機械を使って一人暮らしの高齢者世帯などをまわってやっています。その除雪機も購入後年数が経過し、あまり稼働していないところもあると聞きましたが、大鳥のようなところではフル回転で使っていますので、既に更新時期になっているのではと思っています。このような共同で購入した除雪機の更新にかかる費用面でも支援をいただけたらありがたいのですが、現状はどうなっているでしょうか。

総務企画課長 除雪パートナーズ事業について、会長から6台というお話がありましたが、大網に関しては受け皿としてコミセンができたので、コミセン（朝日東部地区自治振興会）の管理という形になっています。それ以外の自治会連絡協議会で管理しているという機械は5台となりますが、大鳥地区は繁岡、大泉地区は鱒淵、本郷地区は行沢、名川地区は三栗屋、あとは熊出地区ということで配備をしています。利用の仕方についてはそれぞれの地区にお任せしておりますので、どの程度活用されているのかというとは詳しくは分かりませんが、大鳥地区はおっしゃるとおりフル回転という有効活用されているものとお見受けします。玄関前除雪について、これから未来事業計画の説明の際にも皆様からご意見をいただきたいのですが、大鳥のやり方も一つのモデルとなるのではないかと個人的に考えているところです。

ただ大泉地区だと集落も離れて、範囲が広い地域で、鱒淵から倉沢の人が軽トラで運搬するような形では使いづらいということで、倉沢に置いておいた時期もありましたが、地域内全域で活用される状況にはなっていないようです。

会長 大鳥の場合、除雪パートナーズで1台導入したものを繁岡に、そして寿岡には地域づくり協議会の予算で購入し2台の除雪機を使っています。寿岡のものは購入2年目でまだ新しいのでいいのですが、繁岡の機械は古くなってきたので更新に対する支援をお願いしたいところです。

委員 豪雪という災害の扱いにもなりそうだと思うのだが、豪雪の場合、どの程度ふると災害対応になるのか。基準はあるのか。

総務企画課長 豪雪対策本部を設置する基準や朝日地域で警戒体制をとる基準はあります。例えば市の豪雪対策本部は鶴岡公園の積雪が70cm、朝日地域で豪雪災害警戒体制を敷く場合は朝日地域の観測で150cmという基準です。これはあくまで豪雪に対応するための基準であり、どのぐらい降れば災害になるかというものではなく、例えば3m降ったから、4m降ったから災害、というものではないと思います。こちらは毎年雪が多く降ることが想定されるので備えもしっかりしており、皆さんも雪下ろしをしっかりして道路除雪により交通も確保される状態です。例えば数年前に

山梨で除雪が間に合わずに集落が孤立したということがありましたが、そのような状況をもって災害というのであり、どのような状況になればという事で言えば、やはり「被害が出たか」という事が基準になると思います。

委員

雪の多い大網地域で何十年も暮らしてきましたが、こんなに雪がたくさんな年は記憶にないぐらいの大雪を去年経験しました。地球環境が変わってきたり様々なことが影響した結果だと思いますが、雪がある、雪が多いことを利用して収入をえるようなやり方がなにかないものか考えています。半年以上雪と共に暮らしているようなものなので、雪室のように雪で特産物を冷やすような施設を企業が運営し、雇用を確保して人口流出を防ぐというように、なにか田舎に住むメリットがないとどんどん都会に人が流れていって過疎化が進んでしまうのではないかと。都会に住むと税金が高くて、田舎に住むと税金が安くするなどして差をつけないと、若い人も田舎からどんどん出て行ってしまうと思う。

会長

ただいまの意見にあった雪室などはこれまでも色々な会議で話し合われてきましたが、いまだこれといった事業につながっていない現状にあります。この件に関連してご意見いただきたいと思います。

委員

先ほど委員が発言されたように「朝日に住むメリット」、特にこれからの若い人たちは、鶴岡に住むよりも朝日に住むメリットがなければ、どんどん地域から出ていくだろうと思います。もちろん施策として、鶴岡に転出してそこに留まって定住してもらうという考え方もありだと私は思いますので、例えばある地域については極端な話、そこには住まないとか、そこは自然に任せてとか観光目的のためとか、そのような考えも必要かと思えます。また、いろいろな仕事等のお付き合いで様々なお話を聞く機会があるのですが、やはり行政は行政、コミセンはコミセン、企業は企業、それぞれ色々な考え方があって、もちろんそれが当然なのですが、これからはそれらを一本にまとめるというか、それぞれがバラバラにやるのは限度があると思うので、行政で音頭をとりながら多様な主体をつなげて朝日地域全体を盛り上げていく仕組みを作り上げる。人やモノや金も限度はあるので集約して、みんな朝日地域を盛り上げていかないと、このとおりというか。今現在朝日地域は4千数百人住んでいるようですが、私はつい最近まで6千人ぐらい住んでいただったので、段々3千人、2千人と少なくなっていくことが非常に懸念されます。ですから、このようなことも骨子の中に触れていただければ有難いと思います。

委員

過疎対策としては、若者が自分の就職先を見つけるために専門学校や大学に進学する訳ですが、地元に残ってもらいたいと考えると魅力があるだけでは留まらないと思う。要は、働いて普通の暮らしができるような収入を得て生活する必要があるのですが、魅力のある働き場所がないとなかなか地元には残ってもらえないと思う。行政からも企業誘致であるとかこれからの若者が働きたいと希望するような働き口を確保してもらいたい。

産業建設課長

鶴岡市にもさまざまな工業団地があり、鶴岡や大山、櫛引、そして朝日にも工業団地があります。現在では若干売れ残りの区画があるという状況です。このように市全体の事を考えると、どこに団地を作るという事よりも今ある団地に働き甲斐や魅力ある企業に来てもらうほうがよいと考えています。朝日の工業団地ももちろん

あつていいと思いますし、朝日の工業団地に地域外から多くの人が通勤していることから、地域外の人から見ても朝日の企業に魅力があることの表れだと思います。今は車社会が進んで、昔は鶴岡が通勤圏内といわれていましたが今や三川、酒田まで通勤する人もおり、必ずしも地域の中に企業が無いと地域住民が就労しないのかというと、そうは言えないと思います。企業誘致や工業団地に関しては、朝日地域だけではなく市全体で考えるべきことと認識しています。

委員 積雪について。資料6ページ③の雪を資源とした活用策を検討しますとあり、朝日庁舎新築に伴い雪冷房システムを検討すると記載があります。こちらは、是非とも実現してもらいたい。将来につながる非常に良い試みだと思う。

総務企画課長 実現するよう是非とも進めていきたいと思います。

委員 資料に高齢化率が平成27年は37.6%と記載されていた。現在では40%ぐらいになっているかと思う。さて、資料8ページの8.高齢者がいきいきと…という内容がありますが、抽象的な内容は書いてありますが具体的な内容は無いのですか。

市民福祉課長 まず高齢化率についてですが、平成30年3月末現在で朝日地域は39.6%です。全市が33.6%ですので、6ポイント朝日地域のほうが高い状況となっております。基本方針の記載では中山間地域の高齢者がいきいきと生活できる環境の実現ということで抽象的な表現となっております。内容としては介護予防事業の重要性が問われており、現在介護保険料はどんどん上がり、それを抑制するためにいかに介護が必要とならないような仕組みが重要視されています。介護予防に力を入れていきたい、そのためには地域内で事業をリードするお世話役やリーダーの育成をしたいというような内容になっておりますのでご理解いただきたいと思います。

委員 中山間の農業振興について。山ぶどうについてはワイン用はいいようですが原料として難しいようで、そのあたりの販売戦略なども農協だけでなくいろいろがんばってもらいたいと思います。ソバも、なかなか収量が上がらない現状のようです。刈取りのコンバインが足りないということで刈り遅れているところがとても多い。そのあたりもいろいろ協力してもらいたい。1台故障して2台で刈取りをしているが全然間に合わないため、もっと大型のものを購入するなど検討しないと、せっかくできたソバが刈り遅れて収穫できないのはもったいないと思います。

会長 大鳥のソバは、最も奥にあるので刈り取る時期が遅くなってしまい落ちてしまつて猿のエサになってしまい、全然収量が上がらなかつた。私も作っていたが今では作る人はいない。ソバを作付していたところに今ではワラビを植えている。やはり行政の支援がないと大変だと感じている。

副会長 8ページの8番、先ほどあつた意見に関連するものですが、この健康長寿地域担い手育成のための支援とありますが、具体的に誰をどのようにしてというところが分かりません。私も健康づくりのため福祉協議会とかいきいき体操などに行っているのですが、女性はいろいろなところに参加して活動していますが、男性はそのような活動に参加されないため、担い手育成を考えたときにどんどん男性もこのような活動に出ていくような仕組みにすれば、男性ももっと健康づくりを真剣に考えると思います。

事務局 ただいまの質問については、次の資料2のほうで具体の取り組みについて概略と

なりますが触れさせていただきます。

会長                    それではこれで（１）の朝日地域振興計画について協議は終わりとさせていただきます、次に（２）地域まちづくり未来事業について、事務局の説明をお願いします。

事務局                （資料説明）

委員                    朝日地域高校生通学支援事業について、具体的にどれぐらいまで支援できるのか。

総務企画課長        こちらに記載の事業はあくまで朝日庁舎で作ったたたき台であり、市としてこの事業を認めたという事ではありませんし、どの程度ならよいということでもありませんが、我々が考えた具体例がないとイメージしづらいかと思います。例えば朝日だけに限る必要はありませんが、通学定期代の月５千円を超えた部分を補助し、いくら遠くからバスを使う場合でも、定期代は月５千円、年間６万円、といった試算はしております。

委員                    かたくり温泉入浴施設管理事業について、私は毎日利用しており、あれほどよい所はないと思っているので、これは未来永劫何としても続けてもらいたいと思う。それから、道路に関して昔から１１２号の月山道にトンネルを掘るとか、朝日と温海を結ぶ県道を作るとか、大鳥から新潟に抜けるスーパーラインを全線舗装するというような内容があったと思うが、昔から全く進展がない状況だと思う。どうなる見込みか分かれば伺いたい。

産業建設課長        倉沢から越沢、温海川あたりにつなげたいという事で、その県道が主要地方道余目温海線とありますが、その名のとおり起点が余目で終点が温海で朝日を通過する事を考えたときにまだ通行できる状態になく構想段階となっています。市では重要事業要望として要望を上げていますが、それぞれの庁舎から様々な要望が出ており、そのような兼ね合いからなかなか進まないというのは我々としては残念に思います。市で要望している他の路線に優先するのとかと聞かれたりするため、全部進めばいいのですが、そういう優先順位にあるという現状です。朝日スーパーラインについては毎年期成同盟会のほうで早期整備や開通期間の延長について要望運動をしており、工藤会長からもいろいろご協力をいただいておりますが、残念ながら今年はまだ全線開通していない状況で、より運動を強化する必要があると考えているところです。道路は今年の豪雪で落雪防止ネットがかなり傷んでいました。その復旧がかなり遅れているという事のように、まだ開通の見通しは入っていません。今年についてはお盆前の開通は難しいのでは、という感触です。

支所長                山形道（湯殿山IC～月山IC）についても高速化について要望していますが、なかなか進んでいないという状況です。

会長                    スーパーラインについて補足ですが、山間部を通る道路のため崩れるのが当然で、復旧工事は大変だと毎年感じていますが、開通すれば大鳥地区ははじめ朝日地域の活性化に少しは繋がると期待しています。一方、毎年同じところが崩れたり、今までは問題ない場所が崩れたり、毎年秋の紅葉の寸前ぐらいまで修繕工事が必要となり、秋に一週間かけて改修してようやく通れるようになったと思ったら冬季閉鎖という、こんな状況が毎年続いております。今年も伊藤組で現場に入って復旧工事にあたってもらっているものの、被害の規模が大きくなかなか進まないようです。早くやってくれと言っても仕方ないが、１日でも早く開通しと願っているところです。

- 委員 ジビエ施設整備事業とありますが、今年の春から熊も増えているようで、獲れた熊の解体作業を整備してもらえれば獲った人も清潔に解体できて良いと思う。
- 産業建設課長 ジビエ施設については特に事業化したいと考えています。実施には放射能の問題などいろいろ課題はありますが、それを解決できるような形で施設整備をするとともに、施設を作って終わりではなくどういう形で使っていくのか、熊肉をどういう流入ルートにのせるのか、解体精肉まで行って、朝日にくると熊肉が買えるというような、整備後の利活用まで充分に考えて事業化を目指します。
- 委員 関連して質問ですが、有害鳥獣駆除で駆除した動物は簡単に解体や販売が可能なのですか。販売には保健所の許可が必要か。
- 産業建設課長 有害鳥獣駆除で獲った熊等については、基本的に適正な処理をしなければならないということで、食用もその適正な処理の中に含まれると解釈しています。獲った動物を食べたり売ったりしていけないというものではありません。しかし食肉を売るとなると処理施設が衛生上の問題から必要となるため、単に駆除した動物を埋却するよりも食肉として有効活用するためにも、ぜひジビエ施設整備には取り組みたいと考えています。今対象として考えているのは熊、今後発生するであろう猪、ニホンジカも想定していますが、どの程度可能かは今後計画を詰めていきたいと思えます。販売には保健所の許可が必要です。
- 会長 この事業は少しでも早く進めていただきたいと思う。若い人で狩猟免許をとっても、処理施設がないと有効利用できないため、マタギをやめてしまうことになる。
- 委員 未来事業のたたき台に、ぜひやってほしい事業がたくさんあり、1ページの高校生通学費支援事業は私の家庭でも関係があり、ぜひ考えていただくと有難いです。それから山ぶどう産業自立支援事業ですが、こちらも私は山ぶどう関連の加工品を自分で生産しているので、ぜひ山ぶどう生産者に対する支援をお願いしたいと思います。あと、産業振興施設整備事業というのは産直あさひ・グーの事だと思えますが、唯一の朝日地域の産直施設のため無くしたくないという思いもありますし、是非市や国などから補助なり支援をいただければ助かると思えます。現在のホテルの建物を利用した施設ではいろいろと不都合も出てくると思えますし、老朽化しているため一旦更地にするとか、組合員の中でもいろいろ意見がありますので、いろいろ相談の上応援していただきたいと思えます。六十里越街道活用事業もありますが、外国人観光客も来ることですしガイドの育成にも力を入れてほしいと思えます。観光市営バス運行事業、これも大鳥・湯殿山方面へ土日に市営バスの運行という内容で、私もバスに乗ってはいませんが、知り合いの90才ぐらいのお婆さんがAコープやグーで買い物して12時ぐらいに終わっても14時までバスが無いというのめっかしいと思えますし、何かいい案があればいいのにと思えます。あと、会議のたびに毎回言いますが、ジビエ施設に伴って缶詰加工施設の整備もお願いしたいです。
- 会長 熊肉の缶詰などができればおもしろいと思えます。この観光市営バスですが、これは大鳥池の登山口まで運行するバスという事でしょうか。
- 産業建設課長 現在市営バスは市民生活を守るため平日二往復運行していますが、土日に観光と銘打ったのは、大鳥方面は泡滝まで運行したいと考えているためです。現在朝日屋

前のバス停が「登山口」となっており、県外からの観光客からよく電話で「登山口までバスは運行しているようだが登山口からすぐ登山できるのですか」と聞かれ、観光担当は苦勞しています。実際には登山口バス停から泡滝まで12～3km歩かなければならず、もしくはそこからタクシーを呼んでも回送料がかかり落合から乗っていても料金がほとんど変わらない状況です。朝日連峰を縦走する方々の需要に応えるようなダイヤを検討するとともに、例えば土日朝8時に泡滝に向かうバスに地域の方の乗車需要はないと思うので、観光バスとして快速にして湯ノ沢岳登山口、倉沢口（摩耶山登山口）、朝日屋、泡滝にしか停車せず、その折り返しは地域住民も利用できるようにバス停ごと停車するという観光に特化した運転をしたいと考えています。それから湯殿山方面ですが、今の市営バスの経路は下村から田麦俣に行くだけなので、大網のバス停で降りて注連寺や大日坊に行こうとするとかなりの距離を歩かなければならず、今の案の段階では注連寺に行ってから大日坊へ向かい、それから田麦俣に行き、その後湯殿山へ行くという経路です。これも大鳥同様、往路は観光目的で観光地にしか停車せず、帰りは地域住民も利用可能とする運行方法です。現在大日坊のある上村や中村方面は通過していないため、住民の利便性が向上することで需要が高まることも予想され、調査も含めて実施してはどうかと考えています。この事業もまだ案の段階ではありますが、土日は観光需要も満たせるような運行を考えているところです。

- 委員  
事務局                   この事業のたたき台ですが、来月の検討会でふるいにかけるのか。  
                                  検討会については、各地域のまちづくり未来事業を並べて委員の方々からご意見をいただく会議と伺っています。
- 委員                       朝日スポーツセンターをよく利用していますが、シャワーが壊れている、会議室にクーラーが無い、トイレの件も以前申し上げましたが、そのような点が他の地域の施設に比べても劣っているので、早急に対応していただきたいと思います。
- 総務企画課長  
委員                       早急にはお約束できませんが、事業実施に向けて進めたいと考えています。  
                                  未来事業のたたき台にある事業が全部できればいいと思いますし、加えて若者に対する定住対策、子供を安心して産み育てられる環境というような視点の事業も必要だと思います。例えば合併前は子ども達にランドセルを贈ったり、ヘルメットを贈るとか、それだけでもないと思いますし朝日庁舎単独でも難しいでしょうが、そういう事業もあつていいかと思いました。また若者の地域内への定住に対する支援という事で、費用はかなりかかるでしょうが土地や家屋に対する助成制度を作り、教育にもっと力を入れて朝日中をモデル中学校に位置付け、都市部の有名な講師のサテライト授業を受けられるようにするとか、地域の教育に対する魅力が高まれば、若い世帯が関心をもって定住や移住にもつながるのではと考えています。
- 副会長                   あさひ婦人の会では現在、落合の消防分署の交差点周辺の花壇の整備に力を入れています。草むしりも年2、3回行って、皆さんからキレイだと言ってもらうことが活動の励みにもなっています。ただ、会も人数が減り会員も高齢化しているため、いつか花壇の整備をやれなくなるかもしれないと心配していますが、その時ほどのようになるのでしょうか。朝日の中心部を雑草だらけにはしていただけないと感じています。

- 産業建設課長 県道に関しては県のマイロードサポート事業で、道路島の花壇の整備や、道路の草刈りをしてくださった方やグループに対していくばくかの支援をさせていただいているところです。あさひ婦人の会の皆さんからもご協力いただき有難く思いますが、高齢化等によりできなくなるのは残念ですから、むしろ会員の発掘というか、会の存続を目指して活動いただければと思います。また、どうしてもやる人がいなくなった場合は地域の方々との相談になるかと思いますが、こちらとしては地域単位の、例えばコミセン事業等で行っていただけると、継続性からも理想的だろうと考えています。
- 委員 2ページに森林荒廃防止支援事業とあり、菌茸類の原木確保対策と説明がありますが、原木確保と森林荒廃防止はどう関係があるのか。
- 産業建設課長 森林の手入れとして間伐や支障木の除去などが発生するため、それを活用し菌茸類の原木に向けることによって森林の手入れが進むように、という内容です。また朝日では特に国有林野からの原木類の提供も行われていますが、これも国有林野では原木確保のために木を切っているわけではなく、森林整備のために行われているものでありますので、森林管理署とも連携して伐採した木は市で活用するので是非森林整備を進めてもらうというように、双方が得をするやり方で進めていきたいと考えています。
- 委員 2ページ目に観光看板設置事業とありますが、日本の看板で一番悪いのは漢字で書いてさらにそれをローマ字で表記しただけという、外国人が見ても全く意味が無いので、いっそ英語等で表記すべきだと思います。観光看板を設置する場合は日本語と英語の併記はあったほうがいいのかと思います。
- 産業建設課長 以前、湯殿山に来ている車が以前と比べて減ってきているようで、案内不足なのではないかという指摘を受けました。看板などいろいろな表示の方法がありますが日本語はもちろん中国や韓国、欧米からの観光客にある程度対応した多様な言語標記を考えています。基本的には日本語と英語表示、可能であれば中国語とハングルということになるかと思いますが、昨年改修した博物村の看板は逆にサインやマークといった、Wi-Fi が使える、トイレがあるというデザインのサインがあれば言語が違ってても分かってもらえるので、そのような方法も検討しています。
- 委員 朝日いきいき大学の写真科に入っているが、先日朝日スーパーラインの写真コンテストのチラシをもらった。内容は朝日庁舎からスーパーラインを通過して新潟の朝日までという範囲だったと思うが、先ほど聞いたとおり開通していないのであればチラシは配るべきでないと思うのだが。
- 産業建設課長 朝日スーパーラインの写真コンテストは現在おっしゃるとおり募集しています。昨年のスーパーラインの開通日は8月10日で、例年このぐらいの時期には開通となる見込みであり、朝日スーパーライン利用促進協議会ではこのようなコンテストを行ってもっと関心を持ってもらおうと企画した訳ですが、現在第二ゲートまでは通れますがそこから先の県境までは通れない状況です。開通できれば一番良いのですが、開通できなくてもそこまでの風景などを撮影して是非ご応募いただきたいと思っています。
- 会長 前回は申し上げたかと思うが、大鳥地区の自治会長や集落の総会でも決まった話

であることから、大鳥地域のお金で協力隊を呼び込もうという意気込みでいます。それも一つの課題として取り上げてもらうことはできないのか。

総務企画課長

朝日地域振興計画については骨子の段階ですが、成案までには人材育成とともに外部人材の積極的な登用ということも当然書いていきたいと思っています。未来事業の中に位置づけをする場合はかなり具体的なところまで事業の熟度が高まらないと難しいと思いますので、ぜひ大鳥にということであれば地元とも相談させていただき関係機関と話をし載せていく方向で考えていきたいと思っています。ただ、協力隊を募集する際にもただ漠然と人を募集するわけで無く、何をしてもらいたいといった具体的な目的がないと実現は難しいかと思っています。

会長

それでは以上で(2)の協議を終わります。次に、(3)その他について、何かご意見はありますか。

委員

現在の朝日地区の空き家の数はどのくらいか把握しているか。今年度、空き家の適正管理と有効活用という事で2,600万ほどが予算化され、危険な空き家に関しては解体費用の支援もあげられています。それと集落内に結構な数の空き家が散在していますが、例えば自治会から空き家所有者に対して適正管理の指導を市に依頼した場合、市としてどのような対応を行っていますか。

総務企画課長

危険な空き家ということで連絡があった場合、こちらで所有者に連絡をし、場合によっては庁舎にお出でいただいて、環境課も同席のうえ具体的な取り壊し等についても聞き取りをして、緊急の危険除去のためネットをかけた後最終的には解体してもらうところまで強く促すという対策を行っています。今年から集落や相続人が危険な空き家を取り壊す場合に、いろいろ細かい規定はありますが75万円を限度に補助をする制度があり、詳しくは4月の自治会長会議の際に資料を自治会長に配布して説明もしております。具体的に組みたいということであれば、補助金もケースバイケースで該当になる、ならないとか金額も変わってくるため、個別のケースについてはご相談いただきたいと思っています。

委員

去年の暮れごろ、米沢で1件強制代執行をしたと記憶している。最終的にはそこまでいくのか。

総務企画課長

対策としてはそれも選択肢の一つにありますが、代執行に関してはかなりハードルも高いですし、実際に実施するケースというのは難しいだろうと思います。また空き家の数ですが、平成27年度で市全体では2,806棟、朝日地域で83棟と把握しております。

会長

その他、特にご意見等がなければ、以上で協議を終了します。今日皆さんからいただいた様々な意見を今後計画策定に生かしていただければと思います。いろいろなご意見を頂戴しありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

総務企画課長

工藤会長、ありがとうございました。本日みなさまからいただいたご意見については、後日整理の上議事録として取りまとめ、ご出席の委員の確認をいただいた後、鶴岡市ホームページで公開予定です。また、いただいた意見を元に今後も朝日地域振興実施計画、朝日地域まちづくり未来事業の計画策定を進め、次回10月開催予定の懇談会の際に改めてお諮りしたいと考えています。

総務企画課長

他に皆様から何もなければ、帯刀副会長より閉会のご挨拶をお願いします。

## 8. 閉 会

○帯刀副会長

本日はお疲れ様でした。資料に掲げた事業が成立するようお願いいたします。これをもちまして本日の朝日地域振興懇談会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。